



報道発表の配布日時 11月25日 (金) 17時30分

発表項目 (行事名)	胆振東部地震により発生した被災木を活用した彫刻作品の寄贈について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時) なし	発表者	
概要	<p>胆振総合振興局では、令和2年から、北海道胆振東部地震により発生した被災木を活用し、登別市在住の彫刻家 北村哲朗氏から、彫刻作品を被災3町に寄贈して各町の公共施設に設置する「樹憶プロジェクト」に取り組んでいます。 このたび、次のとおり、第2期作品が寄贈されますのでお知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 プロジェクトの目的 震災の記憶を後世に伝えることにより、被災地への持続的な支援と防災意識の向上に繋げることを目的としています。</p> <p>2 プロジェクト名：「樹憶(きおく)プロジェクト」 倒木を彫刻として再び立ち上げることで、未来に託す願いをそこに込めるとともに、震災の記憶を多くの人々の心に留めたいという思いから、木を立てるという意味を持つ「樹」と、心に留めるという意味を持つ「憶」を合わせ「樹憶プロジェクト」と命名しました。</p> <p>3 寄贈者・彫刻制作者 彫刻家 北村 哲朗 氏 (登別市在住)</p> <p>4 寄贈日程・場所・作品名</p> <p>(1) 令和4年12月1日(木) 胆振総合振興局 4階局長室 ※11時から、振興局長より北村氏に感謝状を贈呈します。 〔作品名〕「階(きざばし)」 W 50×D 35×H 200 (cm) 〔作品名〕「季(とき)」 W 100×D 35×H 120 (cm)</p> <p>(2) 令和4年12月8日(木) ※いずれもセレモニー・感謝状贈呈等はありません。</p> <p>①安平町(追分公民館) 〔作品名〕「水脈」 W 77×D 30×H 45 (cm) 他5作品</p> <p>②むかわ町(穂別博物館) 〔作品名〕「時空スコープ」 W 52×D 28×H 40 (cm) 他3作品</p> <p>③厚真町(役場庁舎) 〔作品名〕「風待ち」 W 44×D 32×H 1488 (cm) 他2作品</p> <p>5 その他 使用する木材は厚真町の復旧工事現場から搬出されたナラ材を(株)イワクラ様のご厚意により無償提供いただきました。</p>		
参考	<p>○彫刻家 北村 哲朗氏(66歳)の略歴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1956年 登別市で生まれ、幼少期は父親の転勤により、厚真町にも住んでおり、鶴川中学校を卒業したため被災地域は思い出の地。 ・1979年 北海道教育大学卒業後、教職に就きながら武蔵野美術大学(通信)で美術を学ぶ。 ・1990年～ 独学で彫刻制作を始め、公募展へ出展して研鑽を積む。 ・1995年～ 北海道教育大学大学院で、彫刻家 丸山隆氏に師事する。 ・2008年～ 退職後、彫刻家として活動。毎年、札幌を中心に個展を開催。 <p>○第1期作品について 令和3年12月1日に安平町、むかわ町、厚真町に各1作品を寄贈しており、各町から感謝状が贈呈されました。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>震災の記憶を後世に伝えることにより、被災地への持続的な支援と防災意識の向上に繋げるというプロジェクトの目的を踏まえ、道民の皆様にも広く知っていただきたいと考えておりますので、積極的な取材、報道をよろしくお願ひします。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、取材にお越しの際はマスクの着用をお願いいたします。 なお、取材にお越しいただく場合は事前に担当まで連絡をお願いいたします。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付 (場所) 同時レク		
担当(連絡先)	胆振総合振興局産業振興部林務課(担当者:三澤) TEL(ダイヤルイン)0143-24-9515		

振興局への寄贈作品



「薩」 ナラ



「季」 ナラ